様式第１号の２（１）－〔記入例〕

令和６年度　研 究 助 成 事 業 実 施 計 画 書

養成学校名	○○○○専門学校
担 当 者	柔整　太郎

	区分番号	区分記号
研究助成分野	（２）	２）

新規・継続区分	
新　規	継　続（　令和４年度　）

※【別紙１】に掲げる区分番号、区分記号のいずれかの番号を記入すること

①　研究分野名	柔道整復師の教育に関する分野			
研究課題名	下肢補正筋トレーニングが○○○の▲▲▲に与える影響			
②　研究事業の概要	○○○○			
③　研究目的	※様式第１号の２（２）－１に記入してください			
④　研究計画・方法（内容）	※様式第１号の２（２）－１に記入してください			
⑤　研究業績	※様式第１号の２（２）－２に記入してください			
⑥　研究代表者	氏名	所属研究機関	部局	職名
	○○○○	○○○○	○○○	○○
⑦　ｋｅｙ　ｗｏｒｄｓ	○○○○			
⑧　共同研究者の有無 有　・　無 （有の場合右欄に記載）	氏　名	所属機関　/　職名		
	○○○○	○○○○専門学校/学科長		
	○○○○	○○○○専門学校/専任教員		
	○○○○	○○○○大学/教授		
⑨　研究助成事業交付申請額	４９８，０００　円			
⑩　研究実施予定期間	令和５年４月１日　から　令和６年３月31日　まで			
⑪　事業の効果及び活用方法	○○○○			
⑫　今後の事業展開	○○○○			
⑬　年度における 他の補助事業等への申請状況	有・(無)（有の場合下記に記載）			

※ 実施計画書記入上の留意事項は、【別紙２】を参照にしてください。

※ 様式第１の２（４）の実施スケジュールは、自由記述で予定を記入してください。

※前年度に引き続き研究を継続して実施する場合は、様式第１号の２の（６）を併せて提出してください。

③ 研究目的

※本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り具体的かつ明確に記述してください。

ア．研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえて着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

イ．研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか。

ウ．当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

④ 研究計画・方法（内容）

※本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、今年度以降の計画を、適宜文献を引用しつつ、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述して下さい。

ここでは、研究計画を遂行するための研究体制について、研究分担者とともに行う研究計画である場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割（図表を用いる等）、学術的観点からの研究組織の必要性・妥当性及び研究目的との関連性についても述べてください。

様式第１号の２（２）－２－〔記入例〕

⑤ 研究業績

１　研究代表者の履歴

年号	年	月	学　　歴
○○	○○	○	○○○○　高等学校　卒業
○○	○○	○	学校法人○○学園　○○柔整専門学校　卒業

年号	年	月	職　　歴
○○	○○	○	○○○○整形外科　入職
○○	○○	○	〃　整形外科　退職
○○	○○	○	学校法人○○学園　○○柔整専門学校　非常勤講師
○○	○○	○	学校法人○○学園　○○柔整専門学校　専任教員　現在に至る

２　研究業績

本欄には、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（暦年）毎に線を引いて区別（線は移動可）し、通し番号を付して記入してください。

なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

発表年	研究代表者 ・分担者氏名	発表論文名・著書名等 （例えば、発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。）
2010 年	柔整　太郎	「肩の人工関節の特殊性と適応」『整形・災害外科』○○出版（株）第 42 巻第８号、2010 年、ｐ825-826
2005 年	柔整　太郎	○○○○

様式第１号の２（３）－〔記入例〕

所　要　額　予　定　内　訳　書

養成学校名	○○○○専門学校
研究分野名	**柔道整復師の教育に関する分野**
研究課題名	下肢補正筋トレーニングが○○○の▲▲▲に与える影響

経費区分	対象経費の支出予定額	積　　算　　内　　訳
旅費交通費	１３０，４００円	交通・宿泊費 データ収集　東京～○○（1泊2日）　○人　130,400円 ※　原則として公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控えてください。
消耗品費	２４，８５０円	ファイル　@1,100円×10冊=11,000円 ボールペン　@90円×10本=900円 フラッシュメモリー　@2,550円×１個=2,550円 クオカード　@1,040円×10枚=10,400円 ※　被験者への協力謝金としての謝品（クオカード等）については、協力内容（拘束時間等）を勘案し、常識の範囲を超えない妥当なものとしてください。
会議費	１６，２００円	茶菓代　@540円×10人×3回=　16,200円
印刷製本費	１３，２００円	封筒印刷費
通信運搬費	４，２００円	@84円×50名=4,200円
委託料	６４，３５０円	データ分析費
使用料及び賃借料	５０，６００円	会場使用料
備品購入費	１９４，７００円	動作解析ソフト　@194,700円×1式=194,700円
合　　計	４９８，５００円	

（注）「経費区分」欄は、別紙１「区分番号等」の対象経費欄により記入すること。
「金額」等は消費税込みの価格を記入すること。

様式第１号の２（４）－〔記入例〕

令和６年度　研 究 助 成 事 業 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル 表

養成学校名	○○○○専門学校
研究分野名	柔道整復師の教育に関する分野
研究課題名	下肢補正筋トレーニングが○○○の▲▲▲に与える影響

	令和６年４月	令和６年５月	令和６年６月	令和６年７月	令和６年８月	令和６年９月
事業実施内容	○○○を行うにあたっての模擬症例・評価方法の検討					
	令和６年１０月	令和６年１１月	令和６年１２月	令和７年１月	令和７年２月	令和７年３月
事業実施内容	○○○○試験の実施			○○○○試験の評価の検討		

※ 様式第１の２（１）の研究事業実施計画書に合わせて、研究助成事業実施スケジュールと事業実施内容の予定を記入してください。

様式第１号の２（５）－〔記入例〕

令和６年度　備　品　購　入　理　由　書

養成学校名	○○○○専門学校
研究分野名	柔道整復師の教育に関する分野
研究課題名	下肢補正筋トレーニングが○○○の▲▲▲に与える影響

物品名	規格	単価 （含消費税）	数量	金額	学校運営改善等助成事業の研究課題との関連・必要性
動作解析ソフト	ＮＡＣ ******** visual3D	194,700 円	1	194,700 円	○○作成における動作解析処理に使用のため

注１．１万円以上の備品を購入する場合に記載してください。
注２．学校運営改善等助成事業の研究課題との関連・必要性を簡明に記載してください。
注３．数量は複数以上ある場合は必要な理由を簡明に記載してください。

【別紙１】

１．区分番号

区分番号	研究助成分野	対象経費
（１）	柔道整復師の職域に関する分野	研究事業を実施するために必要な諸謝金、旅費、消耗品費、会議費（茶菓等）、印刷製本費、通信運搬費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
（２）	柔道整復師の教育に関する分野	
（３）	柔道整復教育器材の開発に関する分野	
（４）	養成学校の学生の動向に関する分野	
（５）	養成学校の学生募集に関する分野	
（６）	その他の研究	

（注）「対象経費」欄の（　）は、公益法人等事業における対象経費名である。

２．区分記号

（１）柔道整復師の職域に関する分野

１－１）柔道整復学の発展に寄与する研究

１－２）スポーツ分野における柔道整復のあり方に関する研究

１－３）介護分野での柔道整復師の活動に関する研究

１－４）運動器リハビリテーションにおける柔道整復師のあり方に関する研究

１－５）生理学

１－６）救急医学

１－７）その他

（２）柔道整復師の教育に関する分野

２－１）基礎医学研究（解剖学　一般）

２－２）基礎医学研究（生理学　一般）

２－３）基礎医学研究（病理学　一般　実験病理学を含む）

２－４）衛生学・公衆衛生学

２－５）専門基礎分野における教育法の開発研究

２－６）専門分野における教育法の開発研究

２－７）教育効果の判定法の開発研究

２－８）その他、柔道整復教育に寄与する研究

（３）柔道整復教育器材の開発に関する分野

３－１）柔道整復実技に関する教育器材の開発

３－２）専門基礎分野に関する教育器材の開発

３－３）柔道整復学教育プログラムの開発

３－４）その他の教育器材の開発

（４）養成学校の学生の動向に関する分野

４－１）養成学校の学生の意識に関する調査研究

４－２）養成学校の学生の実態に関する調査研究

４－３）養成学校の学生の卒後動向に関する調査研究

４－４）柔道整復師に対する社会ニーズに関する調査研究

４－５）医療機関における柔道整復師の実態に関する調査研究

４－６）その他

（５）養成学校の学生募集に関する分野

５－１）養成学校の受験生の意識に関する調査研究

５－２）養成学校に対する社会意識の調査研究

５－３）効果的プレゼンテーションの研究開発

（６）その他の研究

【別紙２】　　実施計画書記入上の留意事項

（１）「区分番号」及び「区分記号」
「別紙１」の「１．区分番号」欄及び「２．区分記号」からそれぞれ、事業の内容に応じた区分番号及び区分記号を記入してください。

（２）「新規・継続事業別」
本研究助成事業への申請がはじめてのは、「新規」を○で囲んで下さい。前年度に引き続き研究を継続して実施する場合は、「継続」を○で囲み（　）内には、前年度と記入してください。

（３）各項目の留意事項は、次のようになります。

項　　目	留　意　事　項
①　研究分野名	・研究助成分野名を記入してください。
研究課題名	・具体的な研究課題名を記入してください。
②　研究事業の概要	・当該事業の説明が容易にできるように簡潔明瞭に記入してください。
③　研究目的	・審査会審査委員が研究目的を端的に把握できるように、研究目的の概要について記述してください。
④　研究計画・方法（内容）	・審査委員が研究計画・方法を端的に把握できるように、研究計画・方法の概要について記述してください。
⑤　研究業績	・研究代表者の履歴及び研究業績について記述してください。
⑥　研究代表者	・研究事業助成金の交付の対象となる事業において、当該事業の遂行に責任を負う研究者をいう。
⑦　キーワード	・紀要作成に使用します。キーワードを５つ以内に設定し、記述してください。
⑧　共同研究者の有無	・共同研究者がいる場合は、「有」を○で囲み、その氏名、所属機関等を記入してください。
⑨　研究助成事業交付申請額	・当該研究助成事業は、様式第１号の４（３）の「所要額予定内訳書」と同額になっているか必ず確認してください。
⑩　研究実施予定期間	・事業は、令和５年度（令和５年４月１日 ～ 令和６年３月 31 日）中に必ず完了する必要があります。
⑪　事業の効果及び活用状況	・当該事業の成果が、柔道整復の振興と柔道整復師の教育の充実を図り、もって国民の健康生活の増進に寄与することを具体的に記入してください。 ・当該事業の成果を柔道整復学校協会及び当該学校において、どのように活用していくのかを具体的に記入してください。
⑫　今後の事業展開	・当該事業を柔道整復学校協会及び当該学校において、どのように今後事業展開していくのかを具体的に記入してください。
⑬　当該年度における他の補助事業等への申請状況	・貴校として本事業以外の補助事業等へ申請している事業がある場合には、「有」を○で囲み、申請先名、申請先における補助事業名、貴学校が申請している事業名及び補助要求額（単位：円）を記入してください。 （なお、本研究助成事業へ協議している事業と同じ事業を他の補助事業へ申請している場合も含む。）